

## 1 ねらい / テーマ

---

“省エネ”の方法を考えることから、「モノとのつきあい方」や「暮らし方」まで視野を広げて考える機会を持ち、“本当の省エネ”に気づく。そして、将来どんな暮らしをしたいのかを模索する。 / テーマ：地球温暖化の原因

## 2 概要

---

山田さんの家のリビングとキッチンの写真を見ながら、「省エネの方法」「地球温暖化にならない暮らし方」などを考える。自分の家と比べてどうか、もっと工夫できる点はないかワークシートに記入しながら、周りの人と話し合ってみる。

「家庭の省エネ」の“意識しやすい部分”または、“盲点”や“家庭と社会のつながり”を手軽に探る楽しいプログラム。

所要時間・・・20分～30分

対象層・・・小学4年生以上

適 数・・・指導者1名あたり参加者20名程度

## 3 皆さんにご用意いただくモノ

---

JCCCAからの貸出し物は、「チェックリスト」をご覧ください。

ペン（ボールペンより、ちょっと太字のカラーペンの方が見やすい）、ボード（ワークシートを書いてもらうときに使用）、マグネットまたは用紙とセロテープなど（ワークシートを貼る場合に使う）

## 4 関連づけしやすいJCCCAの貸出しツール

---

ツール A02-01「持てるかな？～エネルギーのかばん～」・・・生活の中で使っているエネルギーの重さを体感する。

ツール A05-01「身近なものから地球の歴史を知る～ペットボトル編」・・・ペットボトルは何からできているのか、500ml ペットボトルを1本作るのにどれくらいのエネルギーを使っているのか、楽しく学んで身近なものの歴史に興味を持つ。

## 5 活動プログラムの進め方（例）



### 1：準備しよう

リビングとキッチンの写真と山田家の現状を書いたパネルを貼り、ボードやペンを準備します。

ソコソコの写真も、必要であれば貼ってください。

ワークシートを貼る場合は、マグネット（磁石がつく場合）か、模造紙などとセロハンテープを用意します。

補足

写真は、リビングとキッチンどちらか1種類でもかまいません。

ソコソコの写真も、使ってもいいし、使わなくてもいいですよ。



### 2：導入（約2分）

“山田家の現状”を把握しよう！

まず、写真を見てもらいましょう。それから“山田家の現状”について伝えます。家族構成や悩みなど。

例)「これは山田さんの家の写真です。…山田さんは電気代がかさんで困っています。『電気代があまりかからない生活、地球温暖化を進めないような生活をしたいけど、どうしたらいいかわからない。教えてー。』とっています。」

ワンポイントアドバイス  
山田さんは実在する人物です。どんな人なのか、肉付けしながら話すとリアリティがあります。



### 3：本体（約15分）

アイデアを出そう！

悩んでいる山田さんに代わって、“省エネ”のアイデア、地球温暖化に寄与しない生活の仕方などを、みんなでアイデア出ししましょう。

ワンポイントアドバイス  
詳細写真を活用しましょう。じっくりと見ることを促します。



#### 4：発表

ワークシートに記入してもらったら発表しましょう。

ワンポイントアドバイス  
こうしたらいいよ、という  
アドバイスは振り返って自  
分がやっているかどうか、  
みんなで確認しあうとよい  
でしょう。



#### 5：まとめ：暮らしへ（約3分） どうすればいいのかな？

山田家へのアイデア出しや、「ソコソコ」パネルを見ての感想を聞く。これからの自分の生活を意識できるようなまとめにしましょう。

補足  
「ソコソコ」パネル  
・登場する金田さんは、快適に自分らしく過ごそうと思っていたら省エネになったとのこと。  
・こうした暮らしを見て自分の暮らしをどんな風にしたいと思うか、それを考えるきっかけにパネルを使いましょう。(押し付けにならないよう)

## 6 関連情報

### 参考情報

- ・省エネルギーセンター スマートライフネット  
[http://www.eccj.or.jp/sub\\_04.html](http://www.eccj.or.jp/sub_04.html)
- ・省エネルギーセンター 「省エネ製品の知って得する選び方、使い方」  
<http://www.eccj.or.jp/productuse/>
- ・省エネルギーセンター ライフスタイルチェック 25  
<http://www.eccj.or.jp/check25/010126/chck25rs1t.html>

## 7 地域でのアレンジについて

### みんなの家を徹底チェック！

参加者に家の中の写真を撮ってきてもらって、みんなでチェックしてみるのも面白いでしょう。自分では気づかない部分を、周りの人に指摘してもらおうと意識が変わるかもしれません。

### 情報提供のお願い

「こんなふうに使ってみたよ」「こんなデータが集まった」というような情報など、ぜひJCCCAへお知らせください。プログラム開発に活かし、全国へと再発信してまいります。よろしくお祈りします。